



一部流失した川内川の床固め堰堤（写真左が加久藤橋）17日午後、えびの市小田

川内川 せき一部流失 えびの

えびの市小田の川内川にあるコンクリート製のせき「床固め堰堤（えんてい）」が一部流失していることが7日、分かった。6日の大雨の影響とみられ、市は7日からせき上流約40メートルにある市道の加久藤橋を安全点検のため全面通行止めとした。

国交省川内川河川事務所京町出張所によると、せきは1967（昭和42）年に完成、川の水をせき止め上流の土砂を安定させる機能がある。長さ90メートル、幅4・5メートル、高さ2・7～3メートルあり、流されたのは右岸側の50、60メートル。近くの住民が見つけ、市に連絡して

判明した。右岸側の護岸も一部壊れており、同出張所は7日夜から復旧工事に着手。せきについては「いつ復旧工事に取り掛かるか、工法を含め検討中」としている。

市建設課によると、加久藤橋自体に損傷は確認されていない。ただし、安全面でせき流失の影響を受けていないか調べる予定で、「安全と分かるまでは通行止めにする」としている。

宮崎地方気象台によると、活発な前線の影響で、えびの市では4日午後2時から雨が降りはじめ、6日には1時間53・5ミリを記録。降り始めか